

多選ストップ

対話型県政にチェンジ!

もっと身近な 女性リーダーを

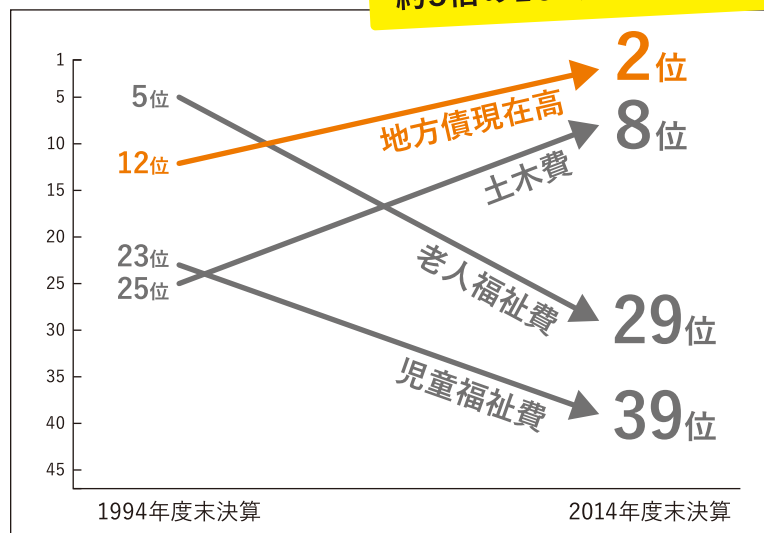
投票
↓
未来へのチケット

多選によりゆがんでしまった県政の象徴のひとつは、税金の使い方のゆがみです。
県民の中に出かけ、みなさんの意見に耳を傾け、県民のアイデアを生かす「対話型」の県政めざし、
県民本位の税金の使い方にたします。

またこの流れを
続けますか?

現職知事になってから

県の借金は
1人あたり39万円から、
約3倍の106万円に急増!



総務省「統計でみる都道府県のすがた」より。前知事が最後に予算を編成した1994年度末決算と、直近の2014年度末決算における割合を比較した全国順位

新しい女性リーダーはお約束します

保育料・学童保育料第2子無料の所得制限緩和、学校給食無償化への市町支援など、「子育て先進県いしかわ」をつくります。

医療分野で働いた経験生かし、「医療・介護日本一のいしかわ」をめざします。

中小零細企業、伝統・地場産業をしっかり支援し、最低賃金の引き上げなどで県民所得を増やします。

TPP11などから、地域の多様な農業、家族農業を守り、地域の文化と伝統を守ります。輪島市産廃処分場建設は凍結します。

教職員を増やし、子どもたちが希望に応じて豊かで質の高い教育を受けられる石川県をつくります。返済しなくてよい奨学金を創設します。



チェンジ! いしかわ